

あなたの地域の活動「ちい活」を応援します！

地域のわ通信

Chikiryoku
Up!

町内のだれでも利用できる！ 『中丸お買い物シャトル』



▲ 「中丸お買い物（移動支援）ネットワーク」のメンバー。左から、原島さん（六角橋地域ケアプラザ）、島田会長（中丸町内会）、久保さん（デイサービス事業者「ハートテック」）、佐々木さん（六角橋地域ケアプラザ）

◆ 「起伏のある丘の中、買い物に困っている人が増えている。何か支援ができないだろうか？」

中丸町は坂が多く、約10年前にバス路線が廃止され、住民たちの高齢化に伴い、買い物に不便を感じている人が増えているという課題がありました。

令和元年5月に、住民の買い物問題の解決に向けて、中丸町内会を中心に、六角橋地域ケアプラザ、デイサービス事業者「ハートテック」の3者が手を組み、「中丸お買い物（移動支援）ネットワーク」が立ち上がりました。

同年9月から4回の試験運行を実施し、その間に、住民アンケートや3者による綿密な打合せを重ね、シャトルバス運営のノウハウを蓄積していきました。本格運行は令和2年10月からスタートしています。

中丸町内会の取組は、町内会がしかけた買い物支援としては区内初です。坂の多い交通空白地帯の買い物支援のモデルケースとして、今後、他の地域に広がる可能性を秘めています。

◆ 誰でも利用できるのが「中丸お買い物シャトル」の良さ！

シャトルバスは、神奈川大学正門前からスタートし、坂の上にある乗り場2カ所を加えた3カ所を停留所としています。利用者は高齢者を中心に、子育て中の親子連れなど、買い物に困っている人なら誰でも利用できるのが「中丸お買い物シャトル」の特徴です。

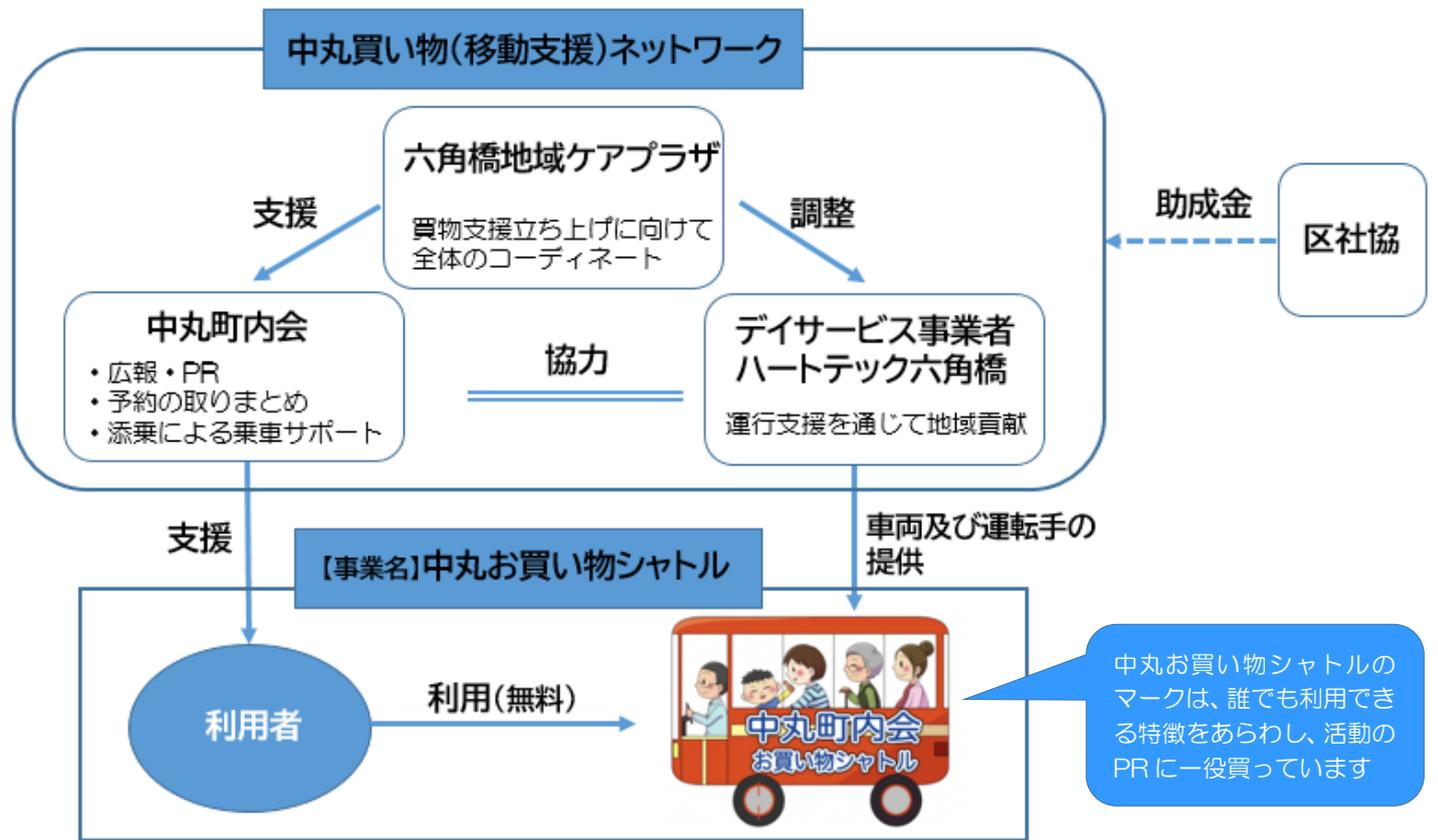
利用者からは「みなさんと顔を合わせるのが楽しみです」「お店にある季節を感じる衣類の色を見るだけでも気分転換になります」と、高齢者が家から出かけるきっかけにもなっています。

中丸町内会の島田会長は今後について「シャトルバスの添乗ボランティアが増えたら嬉しい。買い物支援に関心を持つ人が増えたり、利用者が支援する側になったり、助け合いのサイクルができたらうれしい」と、買い物支援が町内会活動の新たな担い手獲得につながればと期待しています。

▶「お買い物シャトルのロゴは、タイヤの円をモチーフに、中と丸（○）をデザインしたものだ」と語る中丸町内会の島田会長



◆ 「中丸お買い物シャトル」の取組の関連図



◆ 「中丸お買い物シャトル」の概要

実施主体	中丸買い物（移動支援）ネットワーク
実施曜日・時間	月 1 回（偶数月は月曜日・奇数月は木曜日） ① 13：00～ ② 13：45～
買い物先	イオンスタイル東神奈川 *停留所は 3 カ所
対象者	中丸町内会の買い物に困っている人なら どなたでも
参加費	無料
運営資金	・ふれあい助成金（神奈川県社会福祉協議会） ・町内会費からの支出
車両	デイサービスの車両を活用
保険	車両保険（移動支援サービス専用保険）
運転手	デイサービスの管理者
乗車可能人数	5 人（コロナ対応） *最大 7 人まで（運転手含まず）



▲見守りながら利用者の乗車をサポート



▲「コロナで今は車内でのおしゃべりはできないけど、ご近所の方と顔を合わせるだけでもうれしい」と利用者の声

発行・問合せ ▶ 神奈川県神奈川区役所 区政推進課 地域力推進担当
TEL：411-7026 FAX：314-8890
メールアドレス：kg-tiiki@city.yokohama.jp